

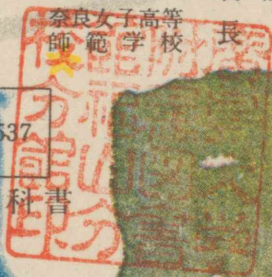
字の書方

教科書文庫
6
720
34-1950
0130449856

東京芸術大学 石橋啓十郎監修
奈良女子高等師範学校 長岡文雄著

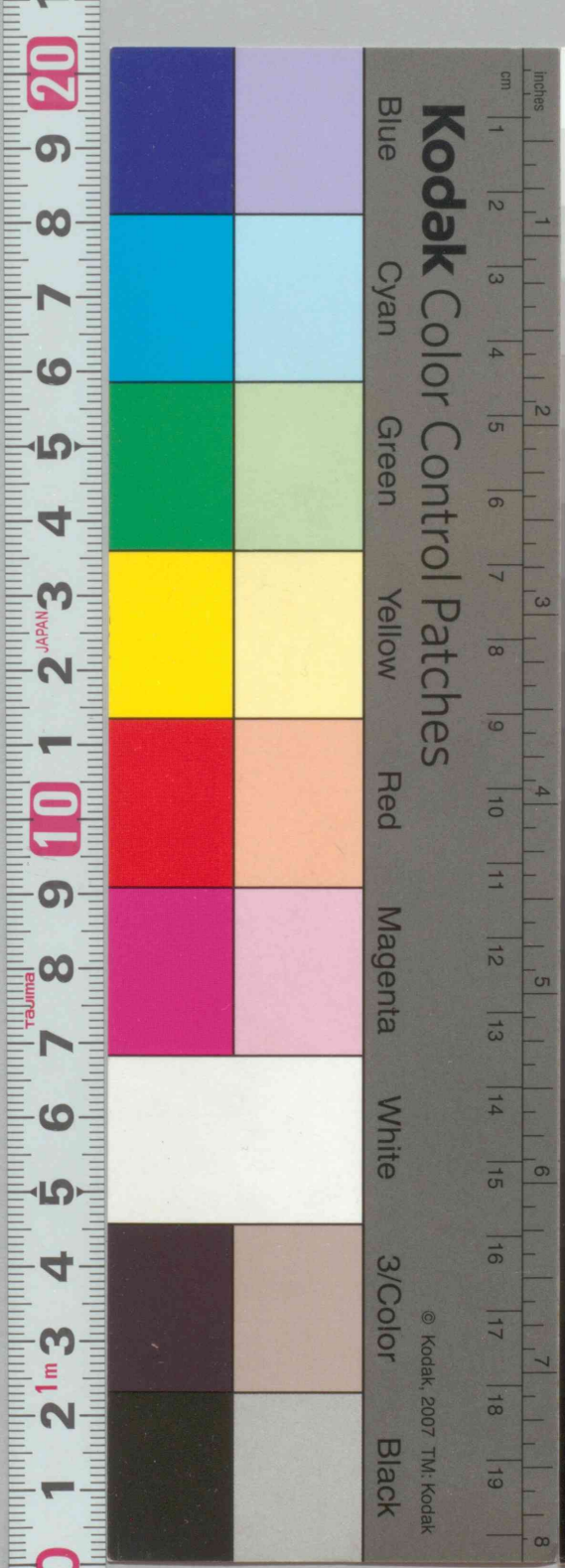
23	小国 537
修文	

文部省検定済教科書



東京修文館

5年
下



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

60289

教科書文庫

6
720
34-1950
0130449856



教科書文庫

6

720

34-1950

0130449856

昭和25年8月12日
文部省検定済
小学校国語科用

字の書方

東京芸術大学 石橋啓十郎監修

奈良女子高等
師範学校 長岡文雄著



広島大学図書

0130449856



下

五年

東京修文館

中央図書館

五年生のみなさんへ

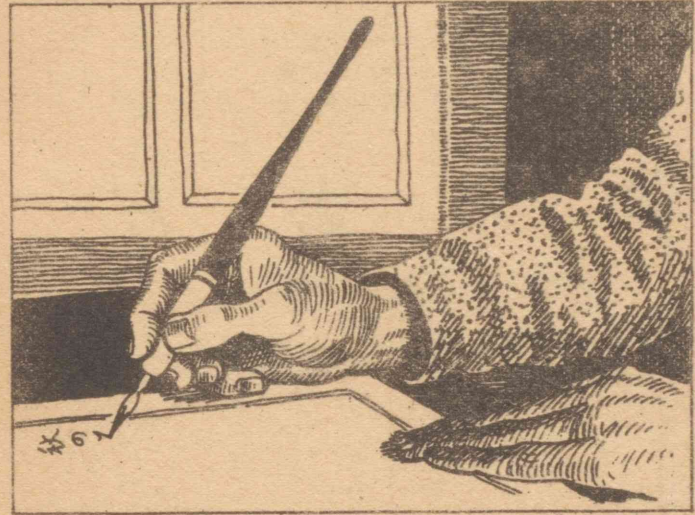
- 一、ペンが正しくつかえるようになりましょう。
- 二、字形をくずさないで、はやく書けるようになりましょう。
- 三、漢字とかなが、つりあいよく書けるようになりましょう。
- 四、気持をつづけて書けるようになりましょう。
- 五、横書きがじょうずにできるようになりましょう。

広島大学図書

0130449856



ペンのよいもちかた。



ペンは、えんぴつのように強くおさえないで書けますから、かるく持つてすらすら書きなさい。

ペン先のむきに気をつけて書きなさい。

ペンと紙の角度はえんぴつと同じくらいです。

上の図をよくごらんください。つぎの点はどんなになっていきますか。ゆびのかけかた、持つ高さ、ペンの角度、ペン先のむき、左の手。

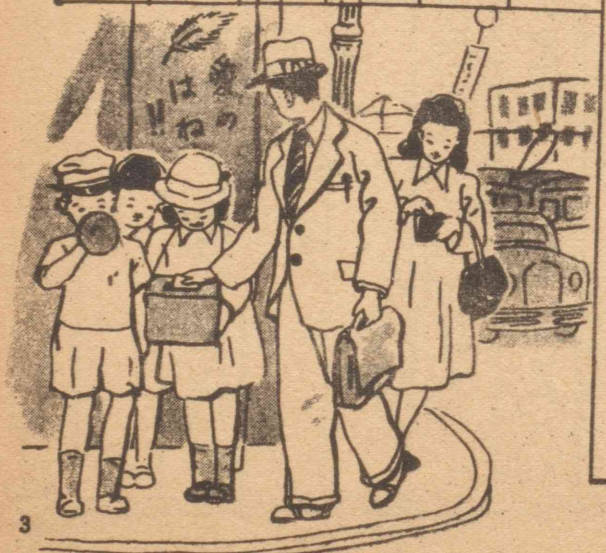
町角では、メガホンでよんでいる。

「みなさん、こまった人やかわいそう

な人を助けましょう。」

国民たすけあい運動。

赤いはねは、愛のはね。



私は、けん金するお金を、自分で働いて作る
ことにしました。

どんなに働いてそのお金を作るか、いろいろ
考えてみましたが、その中に、いいこと
に気がつきました。それは、ちり取を作っ

て家で買ってもらうことでした。ちよう
ど、家のちり取がこわれかけていたからです。
おかあさんにお話すると、

「ほう、それはありがたい、せいぜいいいものを
作ってください。高く買いますよ。」

と、おっしゃいました。

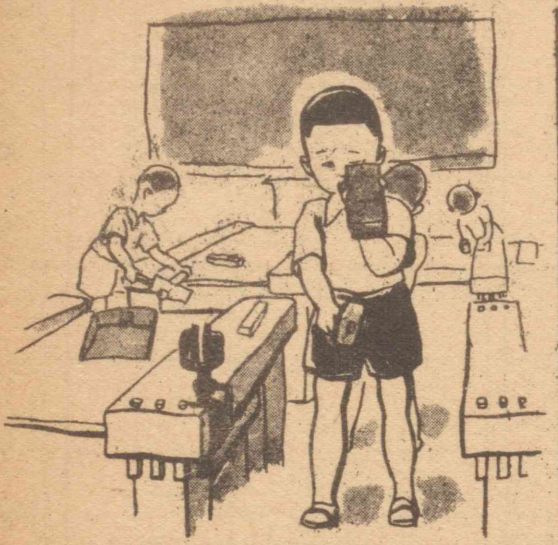
みかんばはこのこわれたのを材料にして、作ることにしました。

まず、今までのちり取の作り方や、その寸法などを参考にし、それよりも、りっぱなものができるような工作図をかきました。

学校の工作の時間や、放課後に、いっしょにけんめい作ったので四日で仕上がりしました。

おかあさんは、五十円で買ってくださいました。

二十円だけけん金して、残りは貯金しました。うれしくてなりません。

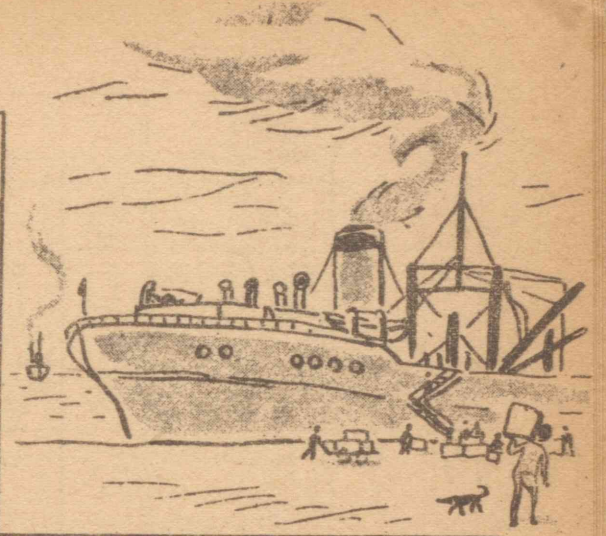


ま	も	て	は	落	に	私	よ	い	先
わ	な	い	少	し	し	は	う	で	生
な	終	い	い	物	な	に	に	が	が
い	り	の	が	け	学	注	け		
こ	ま	が	落	多	れ	用	意	ん	お
と	で	多	し	い	ば	品	さ	や	金
も	き	い	物	な	で	れ	く	や	や
あ	れ	に	そ	ら	も	た	し	物	物
る	い	ノ	は	れ	な	て	を		を
に	に	一	名	に	い	も	貯	む	む
	使	ト	前	さ	と	フ	金	だ	だ
	フ	に	を	が	思	と	を	に	に
	て	し	書	す	フ	大	す	し	し
	し	て	い	人	た	切	る	な	な

左の文を写しなさい。なん分で写せますか。(分)

を	機	さ	ず	そ	も
織	械	な	つ	れ	な
っ	を	金	貯	ば	い
て	動	に	金	か	し
外	か	な	を	り	、
国	す	る	し	で	そ
へ	こ	こ	た	は	れ
輸	と	の	お	な	に
出	に	お	金	い	利
も	も	金	も	み	子
で	使	が	集	ん	も
き	わ	工	ま	な	つ
る	れ	場	る	が	く
		の	と	少	
	織		大	し	
	物				

	ら	貯			
	れ	金			
	た	を			
	り	し			
		た			
	火	ら	る	金	先
	事	、	わ	を	生
	で	お	け	す	の
	や	金	が	る	お
	い	を	わ	こ	話
	た	失	か	と	を
	り	っ	っ	の	聞
	す	た	た	大	い
	る	り		切	て
	心			で	貯
	配	と		あ	





日	自				
が	由				
	と				
い	平	の	い	私	も
よ	和	練	と	は	音
い	を	習			楽
よ	愛	を	て	学	会
近	し	し	ん	芸	も
ず	文	て	ら	会	あ
き	化	い	ん	に	り
ま	を	ま	会	出	ま
し	す	す	に	る	す
た	す		出	人	
	め		す	形	
	る		習	し	
	祝		字	ば	

道	会	ま	い	十
の	が	す	ろ	一
て	あ	。	い	月
ん	り	学	ろ	三
ら	ま	校	な	日
ん	す	で	も	は
会		は	よ	文
が	町		お	化
あ	で	学	し	の
り	も	芸	が	日
ま		会	計	で
す	絵	と	画	す
	画	て	さ	
	や	ん	れ	
体		ら	て	
育	書	ん	い	
会				



喜	命	も
び	の	あ
や	な	れ
	い	ば
悲	人	
し	形	絵
み	を	も
や	思	あ
	う	る
伝	ま	
説	ま	音
や	に	楽
歴	動	も
史	か	あ
を	し	る
	て	

う	美
と	し
す	く
る	ぶ
望	た
も	い
あ	に
る	あ
の	ら
だ	わ
	そ

人	わ	る	か	だ
間	そ	こ	た	い
の	う	と	が	た
い	と	と	ど	い
る	す	を	ん	人
と	る		な	間
こ	気	な	に	に
ろ	持	か	ち	は
に	が	美	が	
は	あ	し	っ	顔
	る	い	て	の
か		も	も	色
な	だ	の		や
ら	か	で	心	く
ず	ら	あ	に	ら
詩		ら	あ	し

父に人形しばいの話を聞いた。いろんな国にいろんな人形しばいがあるわけを、父はつぎのように話した。



寒くなりました。新聞を見ると、毎日のよ

うに火事があったことが書いてあります。

ただでさえ家が不自由であるのに、火事は

かり出しているは大変です。

学校で防火ポスターと、防火

標語のぼしゅうがありました。

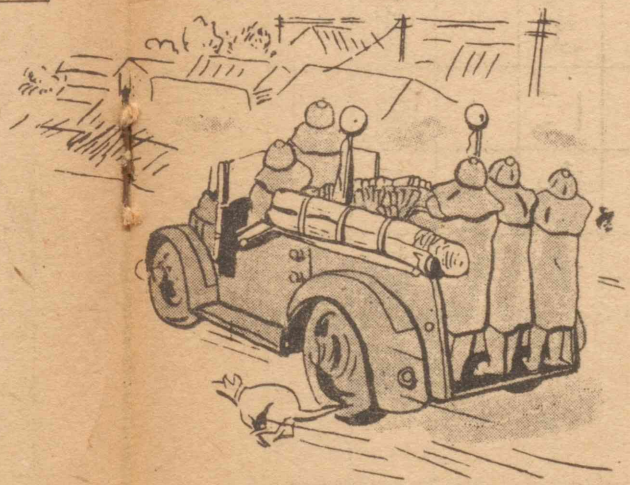
私はつぎのような標語を作りました。

子ども火遊び火事のもと。

マッチ一本火の用心。

月に一回えんとつそろうじ。

ポンプ百より用心ひとつ。



来年は、
筆で書こうと思ふ。

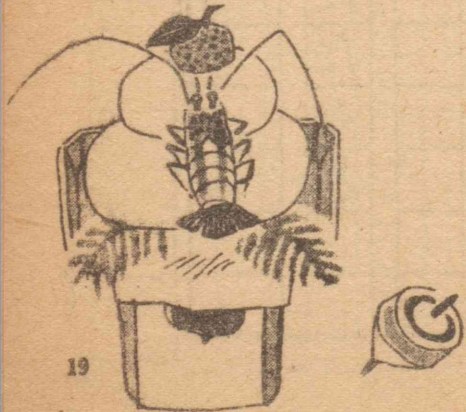
年始状を書いて出しましょう。

姉	心	た	き	年																
は	を	が	よ	始																
	こ		年	状																
筆	め	こ	ま	を																
で	て	と	で	書																
き		し	は	い																
れ	て	は		た																
い	い	ぺ	え																	
に	ね	ン	ん																	
書	い	で	び																	
い	に	書	つ																	
た	書	いた	で																	
	いた		書																	
ぼ	た		い																	
く			て																	
も			い																	

新年おめでとう
ございます

一月一日

奈良局区内手具町三
川口正男



冬休みの作品を先生に見ていただくよ。

「川口くん、この作文はなかなかよくできて

いるから、学校新聞に印刷して出すことにす

る。このげんこう用紙に清書しなさい。

と、おっしゃった。

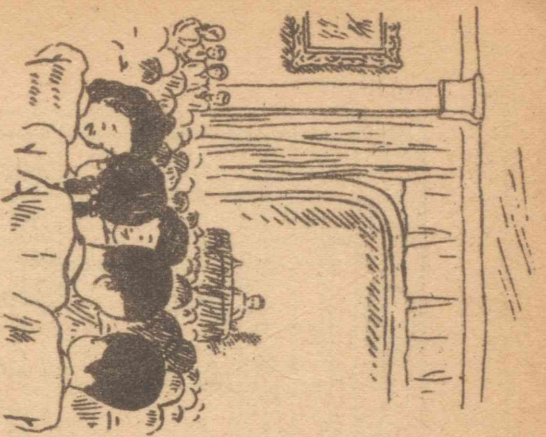
私は、正しいげんこう用紙の書き方を教え

て、ただ書いて清書した。書き出しと、行を改

める時には、ひとはこ下げて書いた。それか

ら、点と、まると、かつこは、ひとはことつ

て、一字分に数えられるように書いた。



みんなが講堂にはいる前と、お話がすんで出る時とでは、講堂の中の温度やしつ度がぜんぜん変わるから調べてみました。

温度の変化は、講堂のかべにかけた温度計で、しつ度の変化はセロランのしつ度計でしらべました。

はじめの時にくらべると、温度も、しつ度もうんと高くな

ることがわかりました。

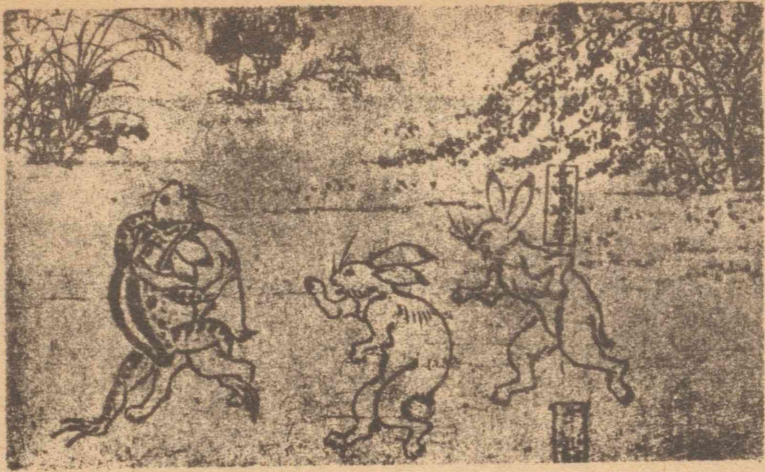
大ぜいの人か、長い間、しめきつたへやにいる時、気分が変わるのは、ひとつには、これが原因とないからではないでしょうか。こんな時には、まどをあけて空気を入れかえねばなりません。

日本にやって来る外国の人々は、みんな日本
の古美術に感心するそうです。

日本の古い建築や、絵画や、ちようこくや
庭園には、外国には見られないおもむきをも
った、りっぱなものがあるという事です。

また、日本らしい芸術の中で、特にすぐれて
いるものに、能というものがあるそうです。

私たちは、日本のすぐれた芸術を大切にす
るとともに、これからも、りっぱな芸術を生
み出すように努力したいと思ひます。



「はっけよい、のこった。
 四つに組んだ大ずもう。
 かえるは、うさぎの耳をくわえて
 得意の足かけ。
 うさぎはけんめいにこらえたが、
 あぶない、たおれそうだ。
 たまりかねたニひきのうさぎ、
 手足をふっておうえんだ。
 土ひょうは、はぎやすすきがさき
 みだれた秋の野原。」

絵まき物（とばそうじょう画）



左の文を行がゆがまないように、また全体としてよく
 まどまるように注意して写しなさい。

先生から漢字の話の話を聞きました。

国民が、社会の一員として、世の中に立っ
ていくために、どうしても読めなければなら
ない漢字が、千八百五十字あります。これを
当用漢字とよんでいます。

その中で、読めるだけでなく、書くことも

できなければならぬ字が八百八十一字だけ
あります。これを義務教育用の漢字、または
教育漢字とよんでいます。義務教育、すなわ
ち、新制中学を終るまでに、かならず読みも
書きもできなければならぬ漢字です。

ひつじゆんのむずかしい字をけいこしました。

緑	植	成	順	側	対	望	希	敗	輪	始
キナ	キナ	ノラハ	川百ハ	側リ	対ニ	望シ	希ク	敗ル	輪車	始ク
拳	選	願	案	都	変	質	読	最	根	当
ケン	セン	ガン	アン	ト	ヘン	シツ	ヨク	サイ	ネ	トウ
無	造	達	憲	愛	票	参	議	衆	梟	府
ム	ゾウ	ダツ	ケン	アイ	ヒョウ	サン	ギ	シュウ	トウ	フ
状	防	説	史	歴	械	機	輸	貯	放	角
シヤウ	ボウ	セツ	シ	レキ	ケツ	キ	シュ	チ	ホウ	カク
整	制	務	漢	築	筆	努	術	講	刷	印
セイ	セイ	ム	カン	キツ	ヒツ	ノ	ジュツ	コウ	シヤク	イン
正	正	力	人	木	三	力	行	言	刷	刷

修文 五筆下 一桁表

教師や父兄のかたへ

一、五年生の書き方指導のめあて

- 1 ベンが正しく使用できるようにする。
 - 2 字形をくずさずに、速書できるようにする。
 - 3 漢字とかなが調和よく書けるようになる。
 - 4 点画はもちろん、文字と文字の間にも気脈をつづけて書けるようにする。
 - 5 横書きがじょうずにできるようにする。
- 二、五年生上、下の編集について
- 1 四年生までの編集の発展として、前学年までと同様、主人公をおき、その生活経験を中心として、すじの通つた単元的なものにし、児童が生活的に興味をもって、自主的に学習するようにした。
 - 2 この学年児童の心理の発達段階に即し社会的要求を満足できるように内容をとりあげた。
 - 3 書き方の教科書であるから、ことばや文字はできるだけ平易であるようにした。
 - 4 手紙、葉書、日記、観察記録、標語など、日常のいろいろの書式にふれるようにし、横書きも多くした。
 - 5 用紙は方眼から、縦けい用紙、原稿用紙、白紙などへと発展させ、文字の大きさも、この期にふさわしくした。
 - 6 配列は単元的にし、生活とむすび、変化を重んじ、しかも文字の書写力発展の系統にも即するようにした。
 - 7 さし絵を多くして、興味をもって学習するようにした。
 - 8 練習のらんを多くし、練習の方法には変化をつけた。また進歩を確認しやすいうようにもした。
 - 9 ベンの執筆図や、ペンの使用についての教材を多くして、ペンの正しい使用法がわかるようにした。
 - 10 巻末に一部のむずかしい文字の筆順表をいれて、正しい筆順で文字を書くようにすすめた。(表紙 山田史郎)



名前

Approved by Ministry of Education
(Date Oct. 3, 1951)

昭和二十五年十月三日印刷
昭和二十五年十月七日発行

著者 岡文雄
 発行者 株式会社 東京修文館
東京都千代田区神田保町一の五
 代表者 鈴木金之助
 印刷者 共同印刷株式会社
東京都文京區久堅町一〇八
 代表者 大橋芳雄
 發行所 株式会社 東京修文館
東京都千代田區神田保町一の五

広島大学図書

013 0130449856

小国 537 字の書方 五年下